



2022年1月期第3四半期 連結決算補足説明資料

2021年12月10日(金)
株式会社三井ハイテック(6966)

- I .2022年 1 月期第 3 四半期連結決算の概要
- II .2022年 1 月期連結業績予想・株主還元
- III .参考資料

2020年1月期第3四半期連結累計	20.1Q3累
2021年1月期第3四半期連結	21.1Q3
2021年1月期第3四半期連結累計	21.1Q3累
2022年1月期第2四半期連結	22.1Q2
2022年1月期第3四半期連結	22.1Q3
2022年1月期第3四半期連結累計	22.1Q3累
2022年1月期第4四半期連結業績予想	22.1Q4F
2022年1月期連結業績予想	22.1F



I .2022年1月期第3四半期連結決算の概要

連結業績 (累計)

(単位：百万円)

	20.1Q3累	21.1Q3累	22.1Q3累					
	前々期	前期	実績	売上比	前期差	前期比	前々期差	前々期比
売上高	64,465	69,501	98,690		+ 29,188	142.0%	+ 34,224	153.1%
売上原価	57,763	60,431	80,647	81.7%	+ 20,216	133.5%	+ 22,883	139.6%
売上総利益	6,701	9,070	18,042	18.3%	+ 8,972	198.9%	+ 11,340	269.2%
販売費及び一般管理費	6,806	7,186	8,490	8.6%	+ 1,304	118.1%	+ 1,683	124.7%
営業利益	△ 104	1,884	9,552	9.7%	+ 7,668	507.0%	+ 9,657	—
経常利益	△ 22	2,014	10,064	10.2%	+ 8,050	499.5%	+ 10,087	—
税金等調整前四半期純利益	16	2,024	10,205	10.3%	+ 8,181	504.1%	+ 10,189	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 317	1,481	7,371	7.5%	+ 5,890	497.6%	+ 7,689	—
※EBITDA	5,112	7,339	15,644	15.9%	+ 8,304	213.2%	+ 10,531	306.0%
為替レート 米ドル (単位：円)	109.06	107.14	109.55		+ 2.41		+ 0.49	

※EBITDA 営業利益 + 減価償却費

連結業績（四半期）

（単位：百万円）

	21.1Q3	22.1Q2	22.1Q3					
	前同期	直前期	実績	売上比	直前差	直前比	前同差	前同比
売上高	25,459	33,183	34,461	—	+ 1,278	103.9%	+ 9,001	135.4%
売上原価	21,747	27,050	28,010	81.3%	+ 960	103.5%	+ 6,262	128.8%
売上総利益	3,712	6,132	6,451	18.7%	+ 318	105.2%	+ 2,739	173.8%
販売費及び一般管理費	2,554	2,784	2,861	8.3%	+ 76	102.8%	+ 306	112.0%
営業利益	1,157	3,347	3,589	10.4%	+ 241	107.2%	+ 2,432	310.1%
経常利益	1,228	3,337	3,989	11.6%	+ 651	119.5%	+ 2,760	324.7%
税金等調整前四半期純利益	1,237	3,337	3,989	11.6%	+ 651	119.5%	+ 2,751	322.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	950	2,444	2,862	8.3%	+ 417	117.1%	+ 1,911	301.1%

対前年同期との増減要因

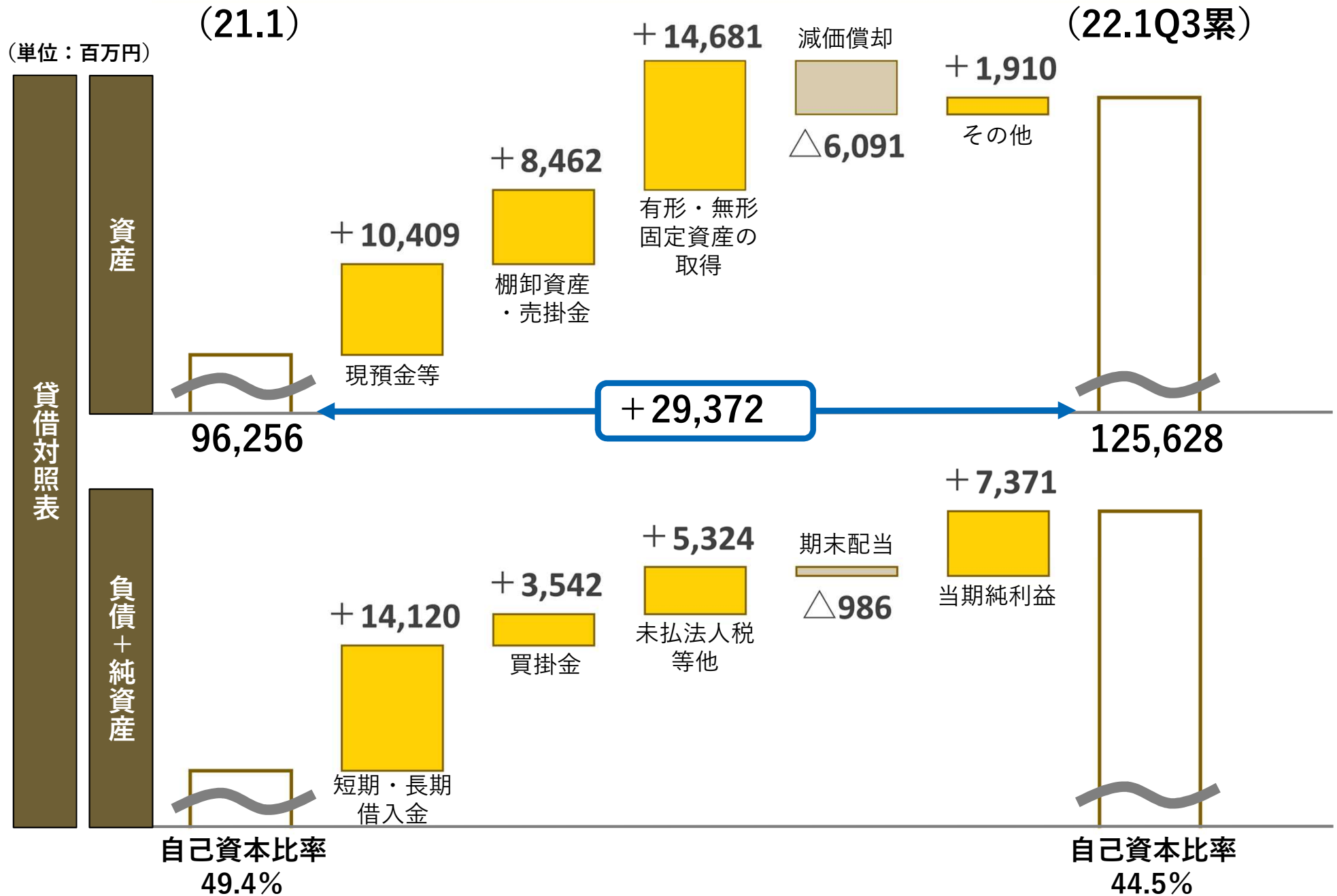
<p>金 型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車載用モーターコア金型の需要が好調に推移 ・ 増収による増益
<p>電子部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種半導体の需要が好調に推移 ・ 不採算製品の収益性の改善と原価低減に取り組んだ結果増益
<p>電機部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大する電動車向け駆動・発電用モーターコアの需要に対応 ・ 原価低減に取り組んだことにより増益
<p>工作機械</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平面研削盤市場は依然として厳しい状況

セグメント別の実績（累計）

（単位：百万円）

		20.1Q3累	21.1Q3累	22.1Q3累					
		前々期	前期	実績	営利率	前期差	前期比	前々期差	前々期比
売上高	金型	6,649	6,365	7,342		+ 976	115.3%	+ 692	110.4%
	電子部品	27,213	29,068	42,297		+ 13,228	145.5%	+ 15,083	155.4%
	電機部品	32,502	36,926	52,820		+ 15,893	143.0%	+ 20,317	162.5%
	工作機械	1,294	637	667		+ 30	104.8%	△626	51.6%
	調整額	△ 3,194	△ 3,496	△ 4,437		△941	—	△1,243	—
	合計	64,465	69,501	98,690		+ 29,188	142.0%	+ 34,224	153.1%
営業利益	金型	858	640	796	10.8%	+ 155	124.3%	△62	92.7%
	電子部品	△ 1,181	885	4,709	11.1%	+ 3,823	531.7%	+ 5,890	—
	電機部品	2,198	2,572	6,256	11.8%	+ 3,684	243.2%	+ 4,057	284.6%
	工作機械	95	△ 158	△ 190	—	△31	—	△285	—
	調整額	△ 2,075	△ 2,055	△ 2,018		+ 36	—	+ 57	—
	合計	△ 104	1,884	9,552		+ 7,668	507.0%	+ 9,657	—
設備投資	金型	341	593	416		△176	70.2%	+ 75	121.9%
	電子部品	1,267	1,701	1,747		+ 46	102.7%	+ 479	137.8%
	電機部品	4,354	6,584	11,956		+ 5,371	181.6%	+ 7,602	274.6%
	工作機械	27	95	39		△55	41.6%	+ 12	143.9%
	調整額	99	57	519		+ 462	905.8%	+ 420	521.6%
	合計	6,091	9,033	14,681		+ 5,647	162.5%	+ 8,589	241.0%

連結貸借対照表の状況





II.2022年1月期連結業績予想・株主還元

(単位：百万円)

	21.1	22.1F					
	通期	通期					
	実績	修正前	修正後				
予想		予想	修正前差	修正前比	前期差	前期比	
売上高	97,351	134,800	138,000	+ 3,200	102.4%	+ 40,648	141.8%
営業利益	3,790	11,600	13,000	+ 1,400	112.1%	+ 9,209	343.0%
経常利益	3,907	11,700	13,500	+ 1,800	115.4%	+ 9,592	345.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,592	7,800	9,500	+ 1,700	121.8%	+ 6,907	366.4%
設備投資額	11,925	23,000	22,000	△1,000	95.7%	+ 10,074	184.5%
減価償却費	7,578	10,000	9,000	△1,000	90.0%	+ 1,421	118.8%
為替レート 米ドル (単位：円)	106.35	108.00	110.00	+ 2.00		+ 3.65	

見通し

- ・ 売上高は電子部品事業では情報通信機器向けや車載向け半導体用リードフレーム、電機部品事業では電動車向け駆動・発電用モーターコアの受注がそれぞれ好調に推移。
- ・ 売上高増加に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想値を上回る見通し。

<p>金 型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電機部品、電子部品の需要が旺盛、引き続き受注は堅調に推移
<p>電子部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5G等の通信関係や車載向けの需要は、引き続き好調を維持
<p>電機部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減産リスクはあるものの挽回生産期となり好調に推移
<p>工作機械</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい受注環境が継続

セグメント別の業績予想（通期）

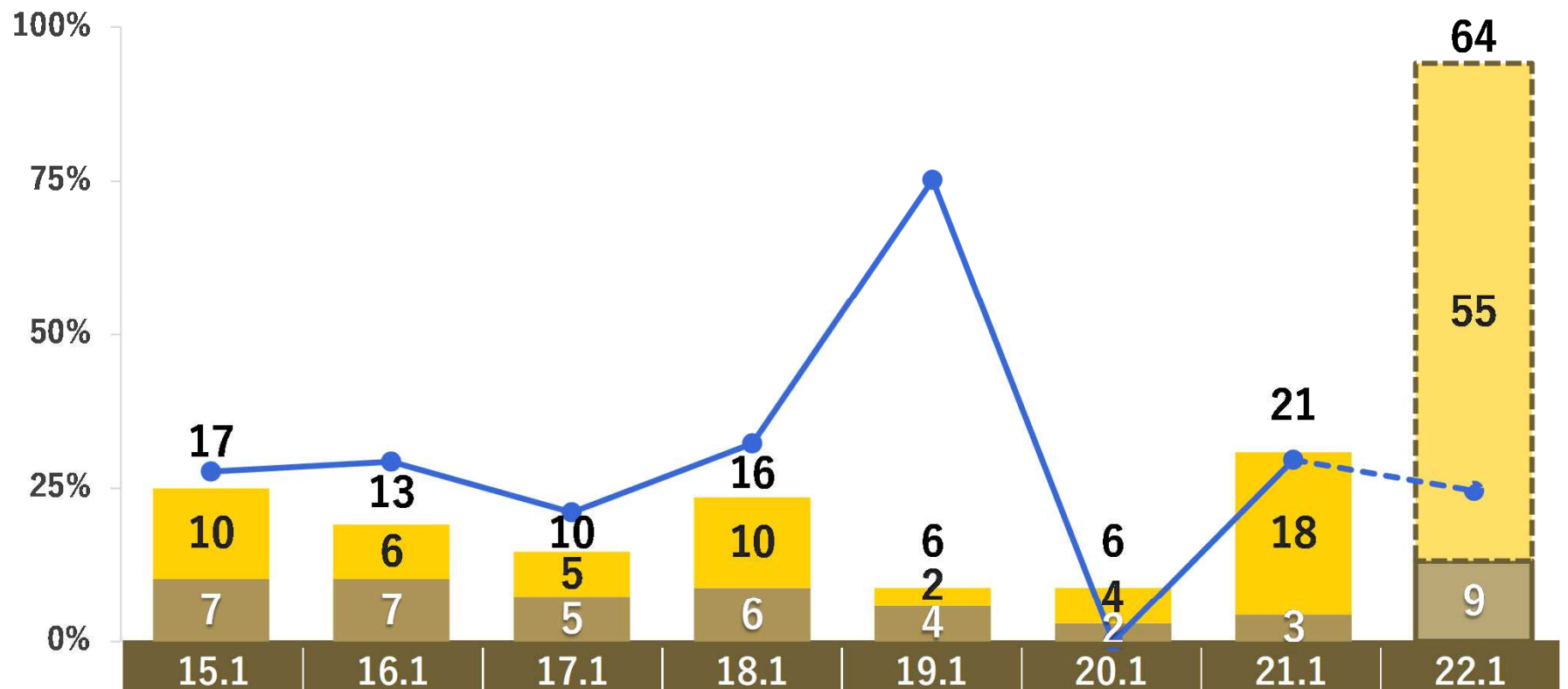
（単位：百万円）

		21.1	22.1F					
		通期	通期					
		実績	修正前	修正後				
			予想	予想	修正前差	修正前比	前期差	前期比
売上高	金型	8,545	9,936	9,806	△130	98.7%	+ 1,260	114.8%
	電子部品	39,895	56,621	57,924	+ 1,303	102.3%	+ 18,028	145.2%
	電機部品	52,966	75,478	75,110	△368	99.5%	+ 22,143	141.8%
	工作機械	871	1,217	917	△300	75.3%	+ 45	105.2%
	調整額	△ 4,928	△ 8,452	△ 5,757	+ 2,695	—	△ 828	—
	合計	97,351	134,800	138,000	+ 3,200	102.4%	+ 40,649	141.8%
営業利益	金型	958	843	955	+ 112	113.3%	△ 3	99.6%
	電子部品	1,515	5,712	7,104	+ 1,392	124.4%	+ 5,589	468.8%
	電機部品	4,527	8,234	8,375	+ 141	101.7%	+ 3,847	185.0%
	工作機械	△ 243	△ 147	△ 246	△ 99	—	△ 2	—
	調整額	△ 2,968	△ 3,042	△ 3,189	△ 147	—	△ 220	—
	合計	3,790	11,600	13,000	+ 1,400	112.1%	+ 9,209	343.0%
設備投資	金型	904	800	638	△ 162	79.8%	△ 266	70.6%
	電子部品	2,307	4,270	3,653	△ 617	85.6%	+ 1,346	158.3%
	電機部品	8,540	17,060	16,965	△ 95	99.4%	+ 8,425	198.7%
	工作機械	107	78	43	△ 35	55.1%	△ 64	40.2%
	調整額	66	792	701	△ 91	88.5%	+ 635	—
	合計	11,925	23,000	22,000	△ 1,000	95.7%	+ 10,075	184.5%

株主還元：配当金

配当方針

株主還元における配当につきましては、連結配当性向30%を目安に、業績や内部留保を総合的に勘案し、中間配当および期末配当の年2回、剰余金の配当を行うことを基本方針としております。



1株当たり 配当金(円)	■ 期末	10	6	5	10	2	4	18	55
	■ 中間	7	7	5	6	4	2	3	9
	● 通期	17	13	10	16	6	6	21	64
● 配当性向 (%)	27.7%	29.3%	21.1%	32.3%	75.2%	—	29.6%	24.6%	

III. 参考資料



2022年 1 月期第 3 四半期補足資料

セグメント別の概要（四半期）

（単位：百万円）

		21.1Q3	22.1Q2	22.1Q3					
		前同期	直前期	実績	営利率	直前差	直前比	前同差	前同比
売上高	金型	1,978	2,540	2,469		△71	97.2%	+ 490	124.8%
	電子部品	9,789	14,082	15,514		+ 1,431	110.2%	+ 5,724	158.5%
	電機部品	14,765	18,039	17,474		△565	96.9%	+ 2,708	118.3%
	工作機械	239	188	271		+ 82	143.5%	+ 31	113.2%
	調整額	△ 1,314	△ 1,669	△ 1,267		+ 401	—	+ 46	—
	合計	25,459	33,183	34,461		+ 1,278	103.9%	+ 9,001	135.4%
営業利益	金型	187	314	239	9.7%	△75	76.0%	+ 51	127.2%
	電子部品	270	1,395	2,237	14.4%	+ 842	160.4%	+ 1,967	827.5%
	電機部品	1,612	2,187	1,773	10.2%	△414	81.1%	+ 161	110.0%
	工作機械	△ 59	△ 55	△ 43	—	+ 12	—	+ 15	—
	調整額	△ 854	△ 494	△ 617		△123	—	+ 236	—
	合計	1,157	3,347	3,589		+ 241	107.2%	+ 2,432	310.1%
設備投資	金型	265	163	142		△21	87.0%	△123	53.5%
	電子部品	268	567	782		+ 214	137.9%	+ 514	291.4%
	電機部品	1,245	5,171	3,289		△1,882	63.6%	+ 2,044	264.2%
	工作機械	8	13	24		+ 11	181.9%	+ 16	292.4%
	調整額	32	119	330		+ 211	276.3%	+ 298	—
	合計	1,820	6,036	4,569		△1,466	75.7%	+ 2,748	251.0%

業績概要（対直前四半期）

- 電子部品は、引き続き好調を継続。また不採算製品の収益性改善により増益。
- 電機部品は、減産の影響を受けて減収。減収及び固定費の増加により減益。

セグメント別の業績予想（下期）

（単位：百万円）

		21.1	22.1F					
		下期	下期					
		実績	修正前	修正後				
予想	予想		修正前差	修正前比	前期差	前期比		
売上高	金型	4,158	5,064	4,933	△131	97.4%	+ 774	118.6%
	電子部品	20,617	29,839	31,141	+ 1,302	104.4%	+ 10,523	151.0%
	電機部品	30,805	40,133	39,764	△369	99.1%	+ 8,958	129.1%
	工作機械	473	821	520	△301	63.4%	+ 46	109.8%
	調整額	△ 2,746	△ 5,283	△ 2,587	+ 2,696	—	+ 158	—
	合計	53,309	70,572	73,772	+ 3,200	104.5%	+ 20,462	138.4%
営業利益	金型	506	286	398	+ 112	139.2%	△107	78.7%
	電子部品	899	3,241	4,633	+ 1,392	143.0%	+ 3,733	514.8%
	電機部品	3,567	3,752	3,892	+ 140	103.7%	+ 324	109.1%
	工作機械	△ 143	0	△ 98	△98	—	+ 44	—
	調整額	△ 1,767	△ 1,642	△ 1,788	△146	—	△20	—
	合計	3,063	5,638	7,037	+ 1,399	124.8%	+ 3,973	229.7%
設備投資	金型	576	526	364	△162	69.2%	△212	63.0%
	電子部品	874	3,305	2,688	△617	81.3%	+ 1,813	307.3%
	電機部品	3,200	8,393	8,298	△95	98.9%	+ 5,096	259.3%
	工作機械	20	63	28	△35	44.4%	+ 7	139.1%
	調整額	41	604	511	△93	84.6%	+ 470	—
	合計	4,713	12,889	11,889	△1,000	92.2%	+ 7,175	252.2%

セグメント別の業績予想（第4四半期）

（単位：百万円）

		21.1Q4	22.1Q4F			
		前期実績	予想	営利率	前期差	前期比
売上高	金型	2,179	2,463		+ 283	113.0%
	電子部品	10,827	15,626		+ 4,799	144.3%
	電機部品	16,040	22,290		+ 6,250	139.0%
	工作機械	234	249		+ 14	106.4%
	調整額	△ 1,432	△ 1,319		+ 112	—
	合計	27,849	39,310		+ 11,460	141.2%
営業利益	金型	318	159	6.5%	△159	50.0%
	電子部品	629	2,395	15.3%	+ 1,765	380.5%
	電機部品	1,955	2,118	9.5%	+ 162	108.3%
	工作機械	△ 84	△ 55	—	+ 29	—
	調整額	△ 913	△ 1,170		△257	—
	合計	1,905	3,447		+ 1,541	180.9%
設備投資	金型	310	221		△89	71.2%
	電子部品	606	1,905		+ 1,299	314.4%
	電機部品	1,955	5,008		+ 3,052	256.1%
	工作機械	11	3		△8	28.3%
	調整額	9	181		+ 172	—
	合計	2,892	7,318		+ 4,426	253.0%



会社案内

社名	株式会社三井ハイテック(東証1部 6966)
代表者	代表取締役社長 三井康誠 (ミツイ ヤスナリ)
本社所在地	福岡県北九州市八幡西区小嶺二丁目10番1号
創立	1949年1月
資本金	164億388万円
事業内容	金型、電子部品、電機部品、工作機械の製造・販売
事業所	福岡県:4ヶ所、熊本県:1ヶ所、岐阜県:1ヶ所
営業拠点	東京／大阪／名古屋／豊田／仙台／北九州
従業員数	4,011名(2021年1月末現在 連結)
グループ会社	国内 福岡県：(株)三井スタンピング 海外 シンガポール・香港・マレーシア・天津・上海・台湾・ タイ・広東・カナダ・ポーランド
海外事務所	北京・成都・新竹・フィリピン・サンノゼ・シカゴ・ミラノ・ フランクフルト

戦後復興期
(1945-1955)

高度成長期
(1956-1974)

安定成長期
(1975-1985)

バブル景気
(1986-1991)

低成長期
(1992-)

家電ブーム

ハイブリッドカー発売
(1997)

高度経済成長・大量生産の時代

- 1949年 創業者三井孝昭が三井工作所を創業
- 1954年 熱処理後総研削仕上げ金型により、機械による金型量産化を実現
- 1959年 タングステンカーバイド精密打抜き金型の実用化

半導体産業の勃興

- 1966年 ICリードフレーム用打抜き金型の開発
- 1969年 ICリードフレームの量産を開始
- 1975年 MACシステムの実用化
- 1984年 商号を株式会社三井ハイテックに変更

自動車の電動化の時代

- 1997年 ハイブリッドカー向け金型の開発
- 2017年 ミツイ・ハイテック（カナダ）が量産開始
- 2019年 岐阜事業所が量産開始
- 2021年 ミツイ・ハイテック（ヨーロッパ）が量産開始

金型

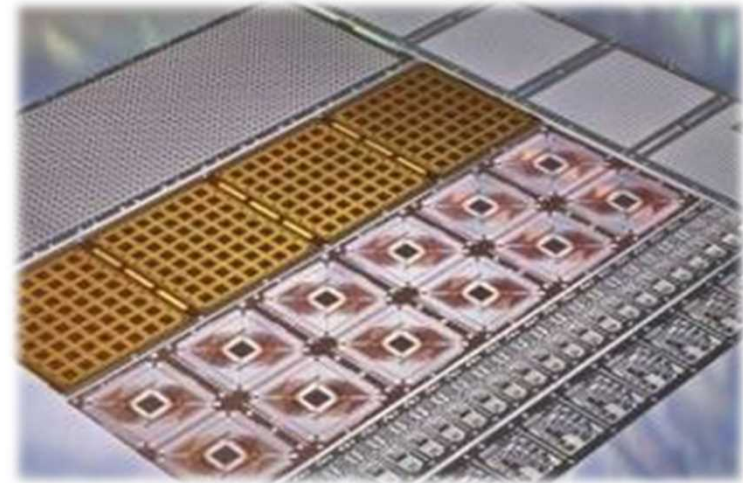


(モーターコア用打抜き金型)

(IC リード フレーム用打抜き金型)

電子部品

(リードフレーム)



電機部品

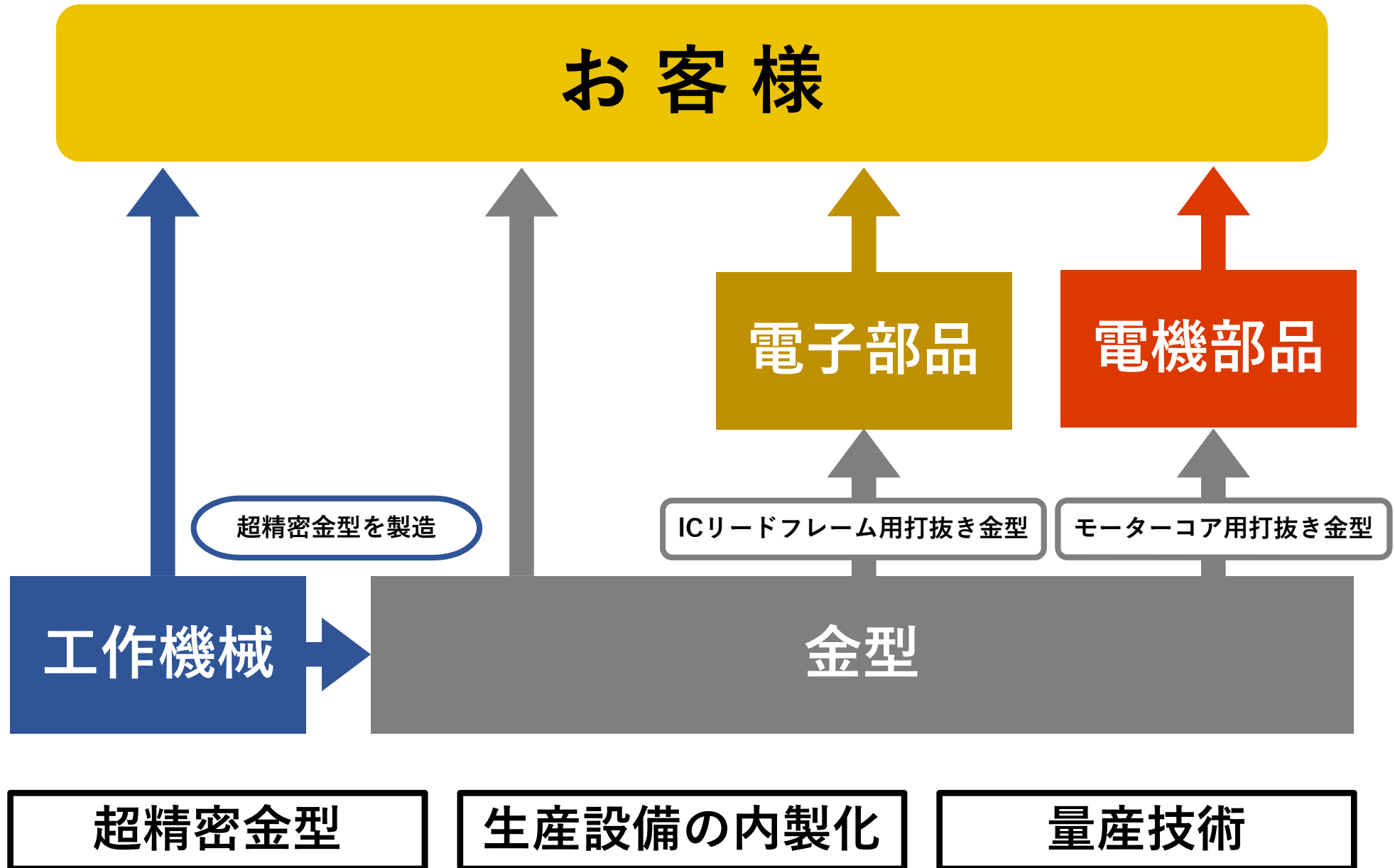
(モーターコア)



工作機械

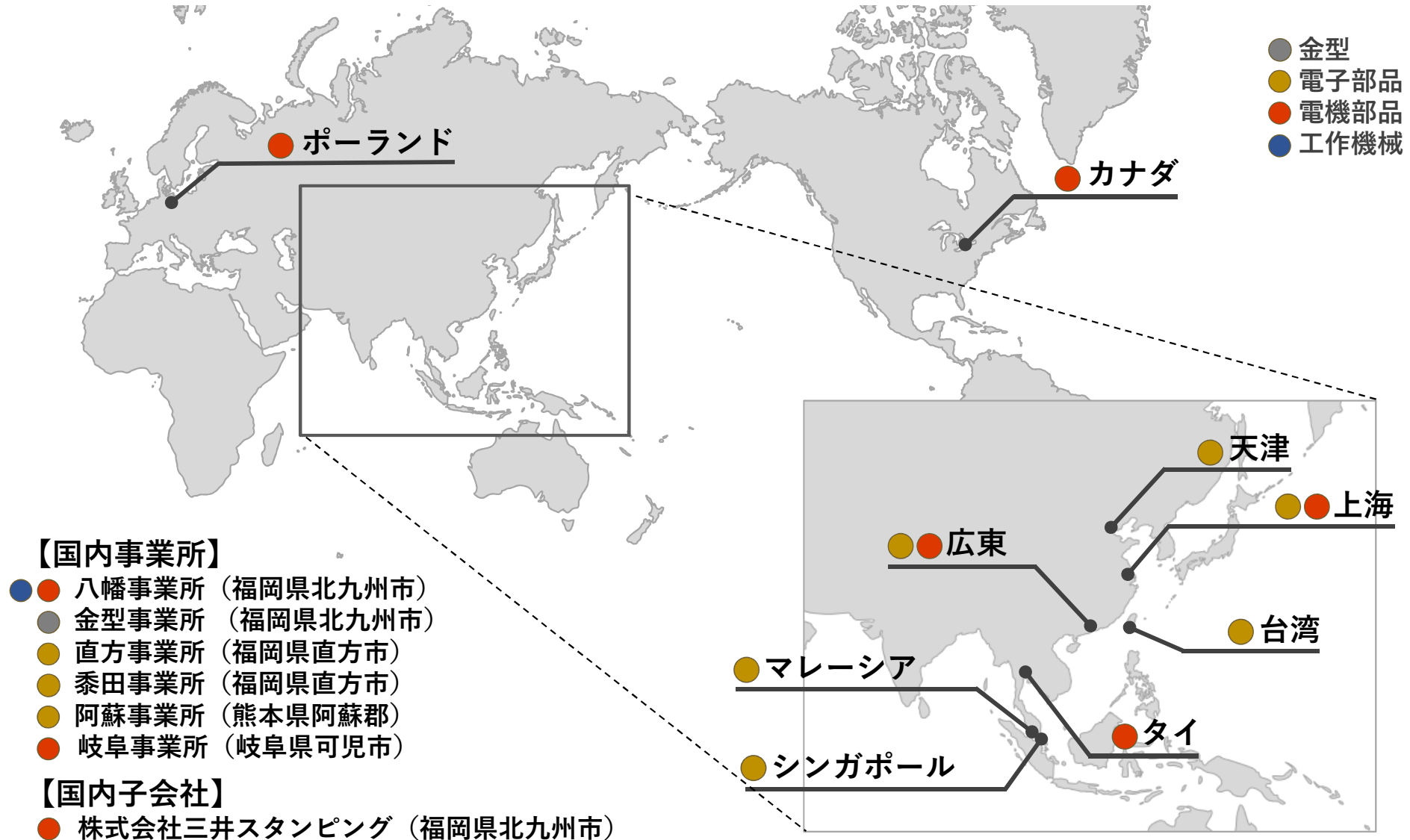
(平面研削盤)





1960年代より海外に進出

生産拠点数：16拠点（海外9拠点、国内7拠点）



中長期的な経営目標

中長期的な目標

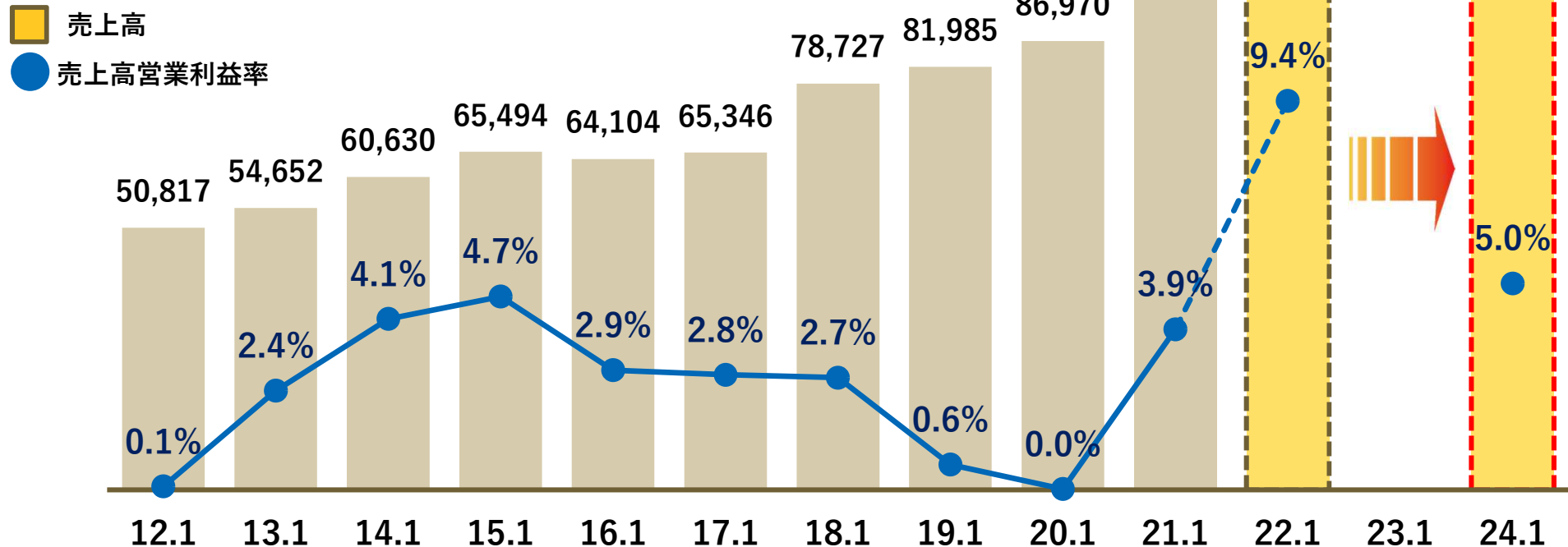
当初計画より売上高・営業利益ともに前倒しで進捗
 現在 中長期計画を見直し中
 (2022年1月期末の決算発表時に開示予定)

(単位：百万円)

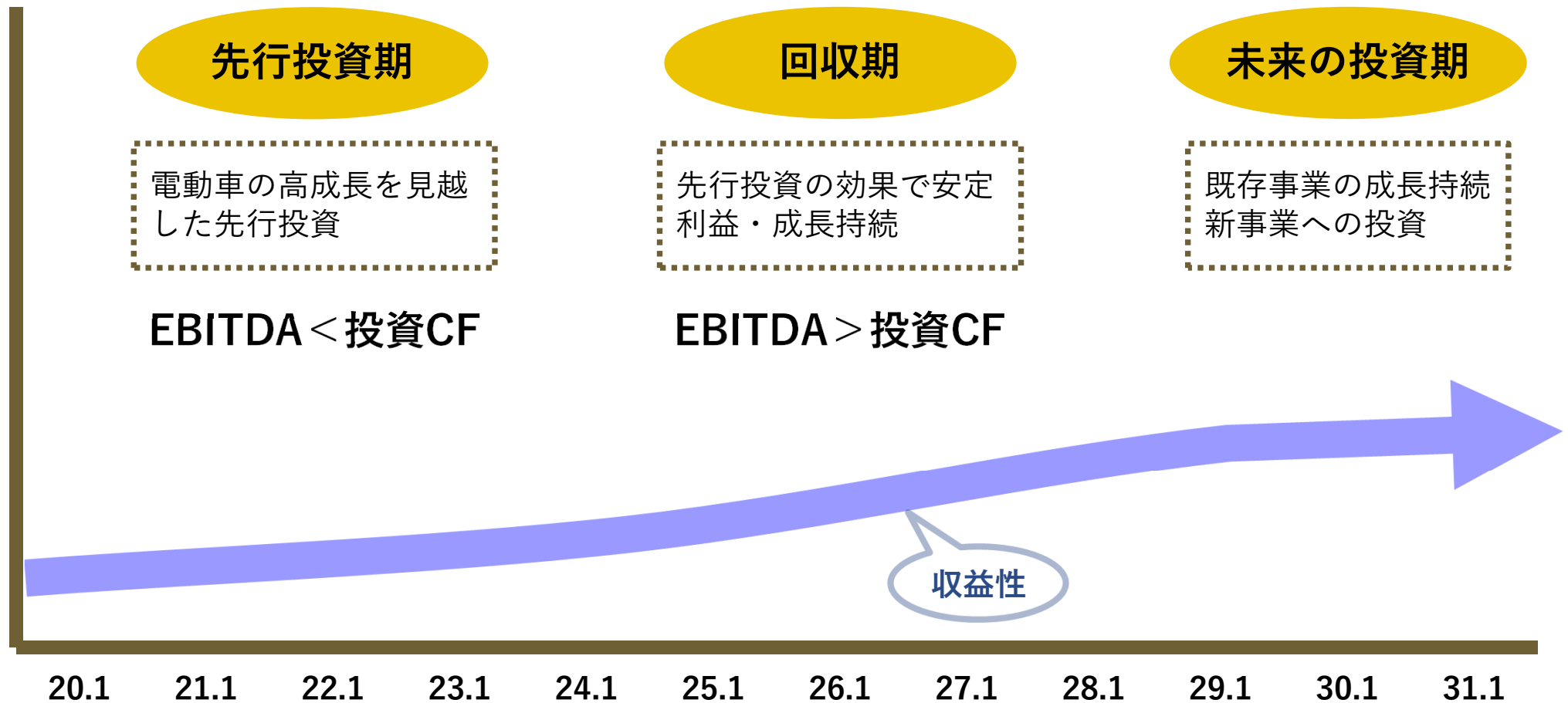
2024年1月期

- ・ 売上高 **1,500億円**
- ・ 売上高営業利益率 **5%**

(2019年1月時点の目標値)



各生産拠点(日本・中国・アジア・北米・欧州)の顧客の需要に応じて生産能力を向上



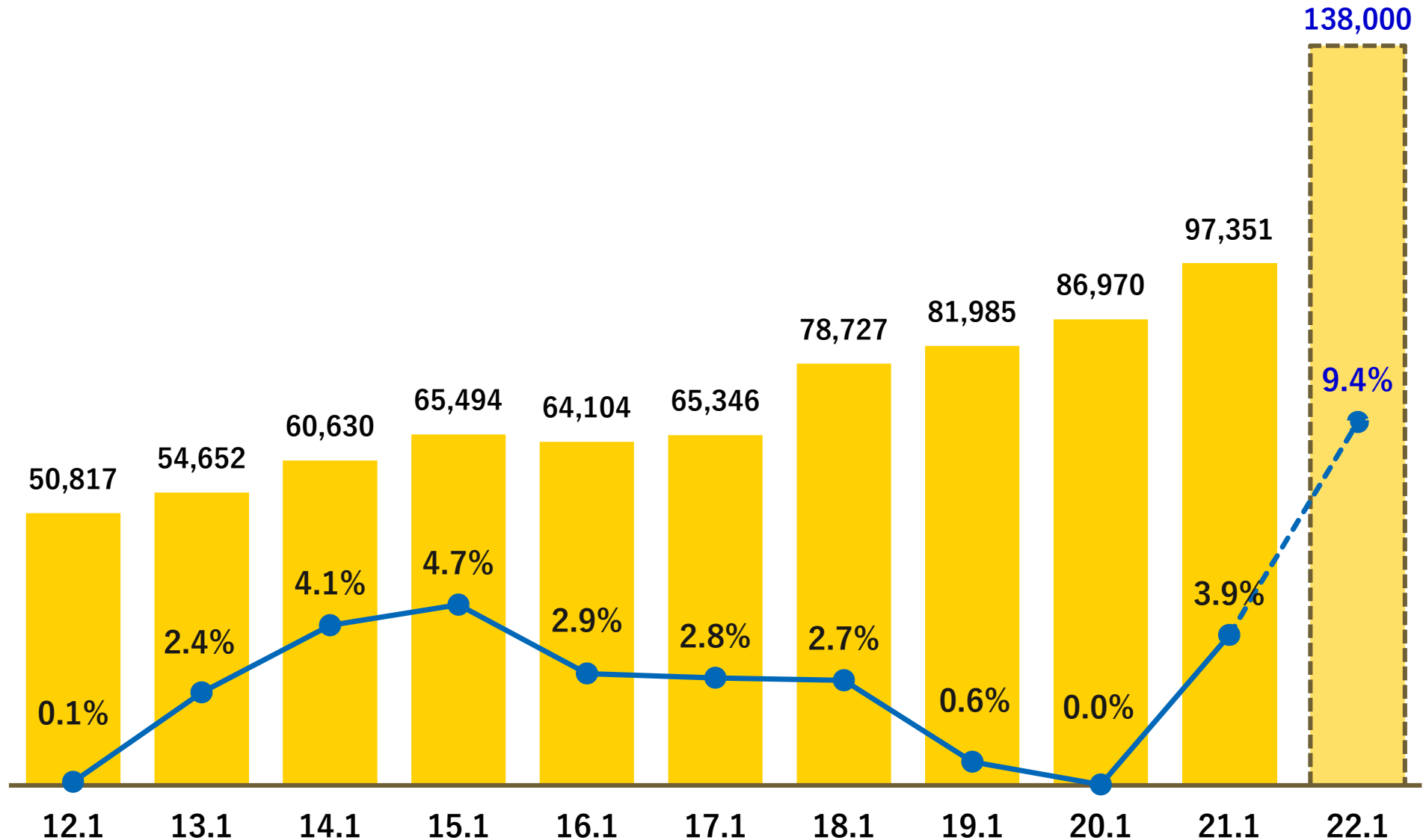


財務データ

連結業績推移(会計年度別)

(単位：百万円)

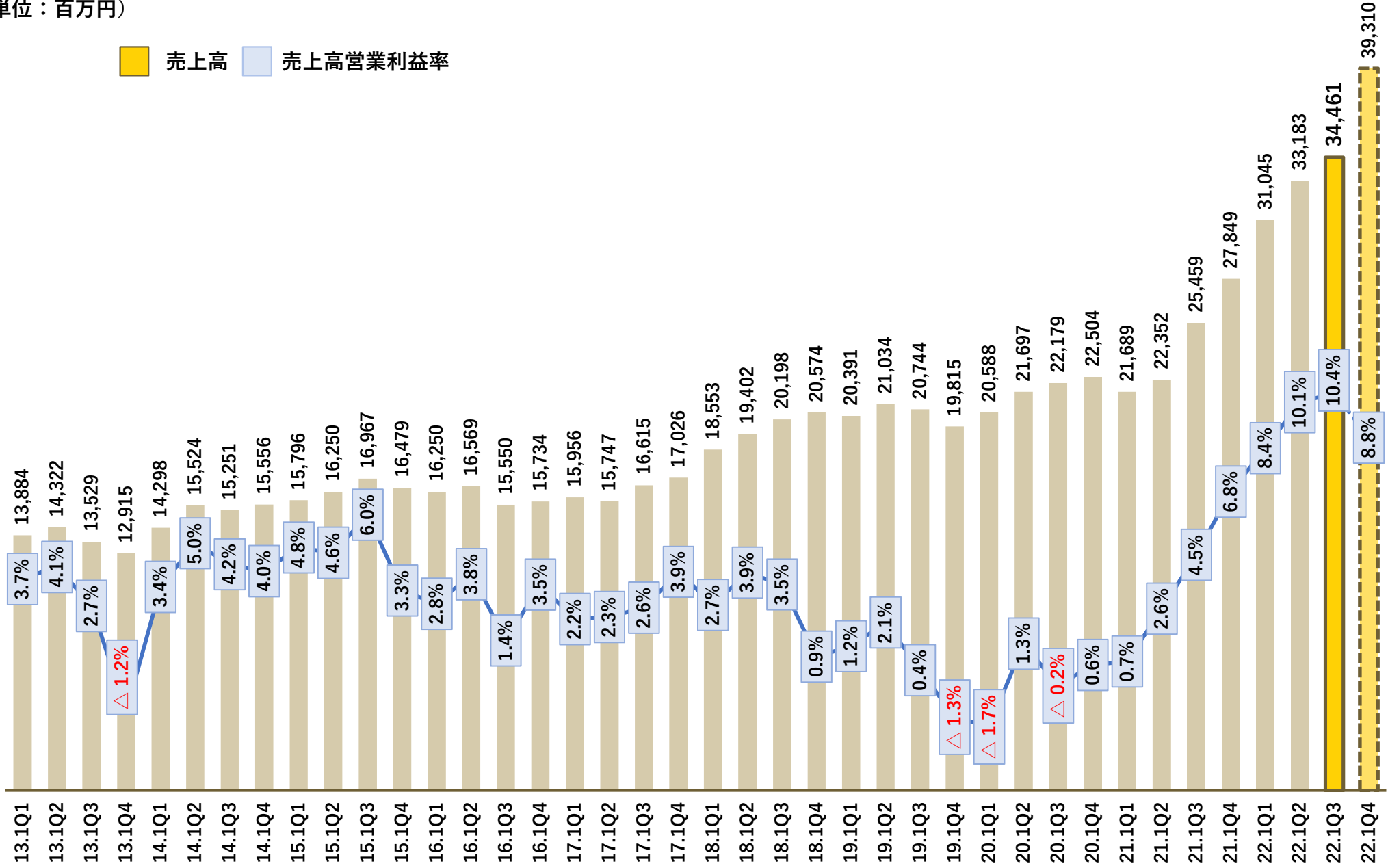
■ 売上高 ● 売上高営業利益率



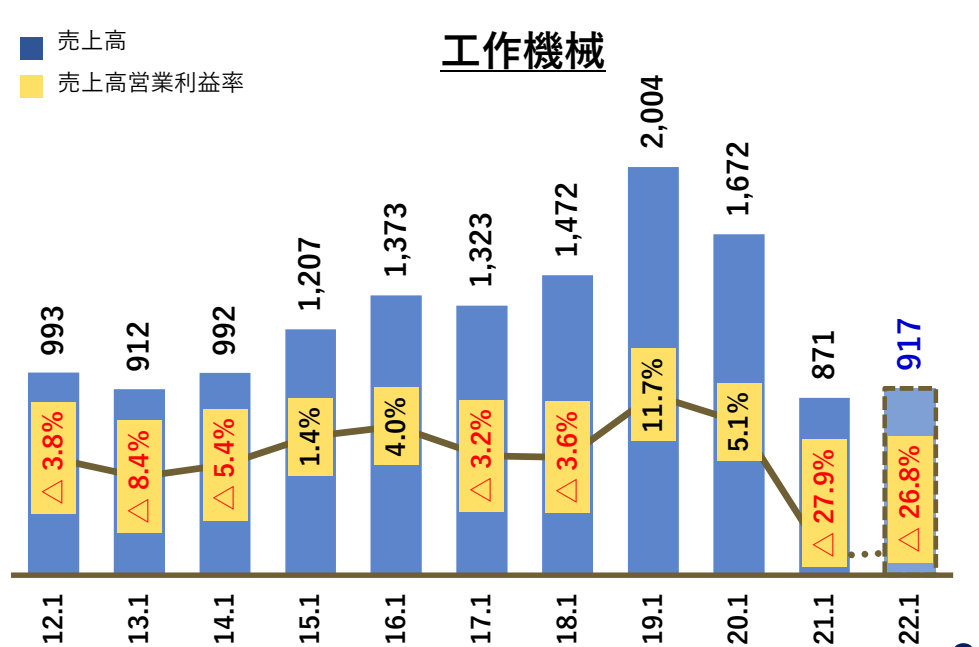
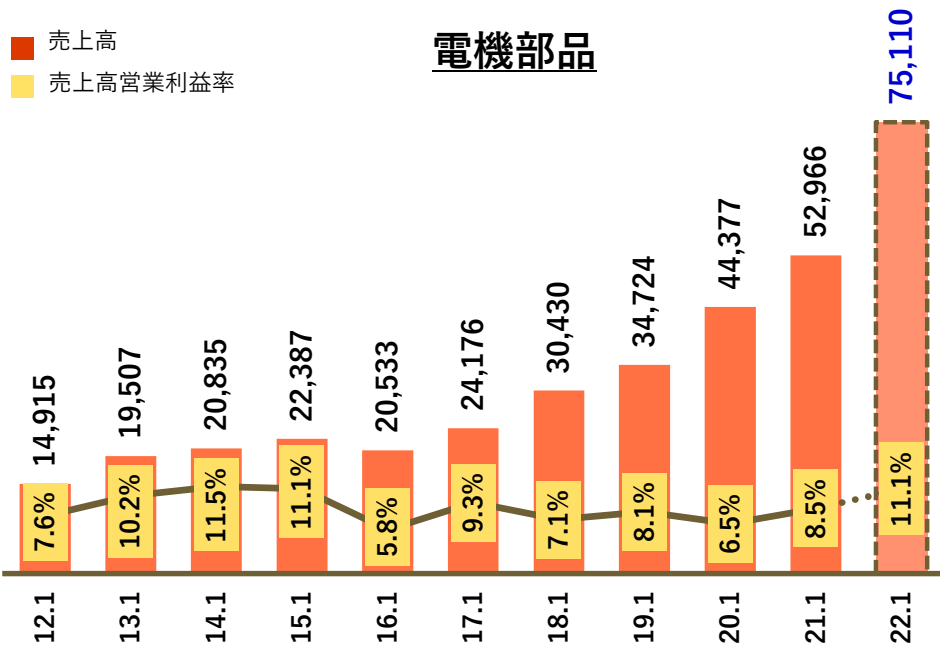
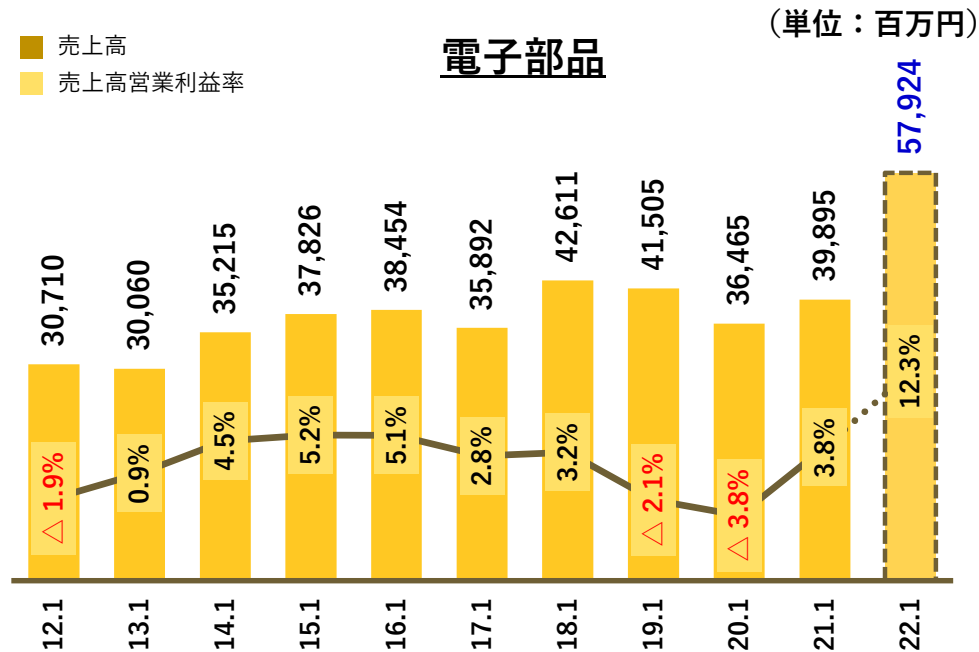
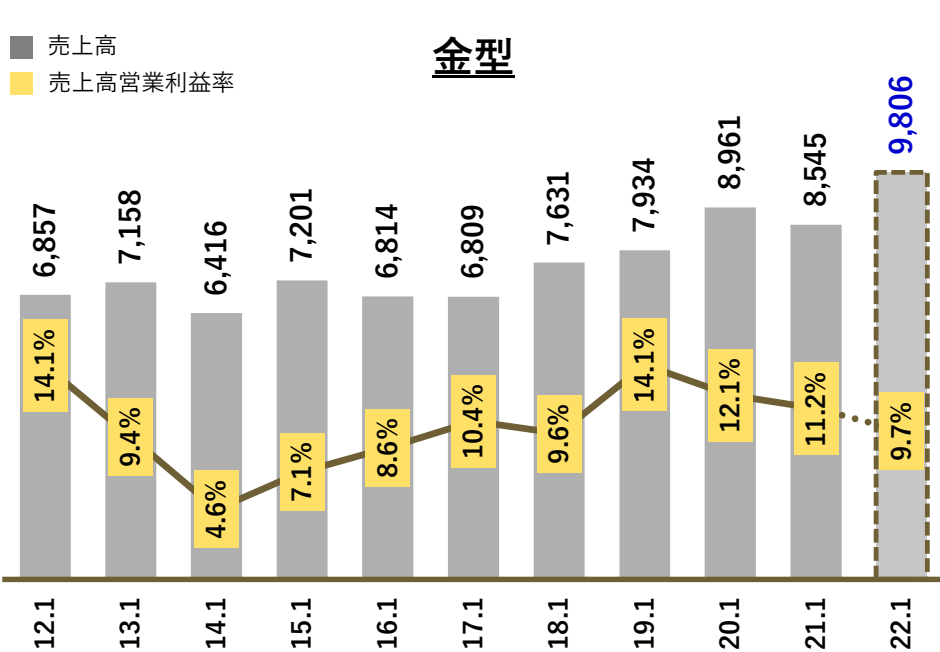
連結業績過年度推移(四半期別)

(単位：百万円)

売上高 売上高営業利益率

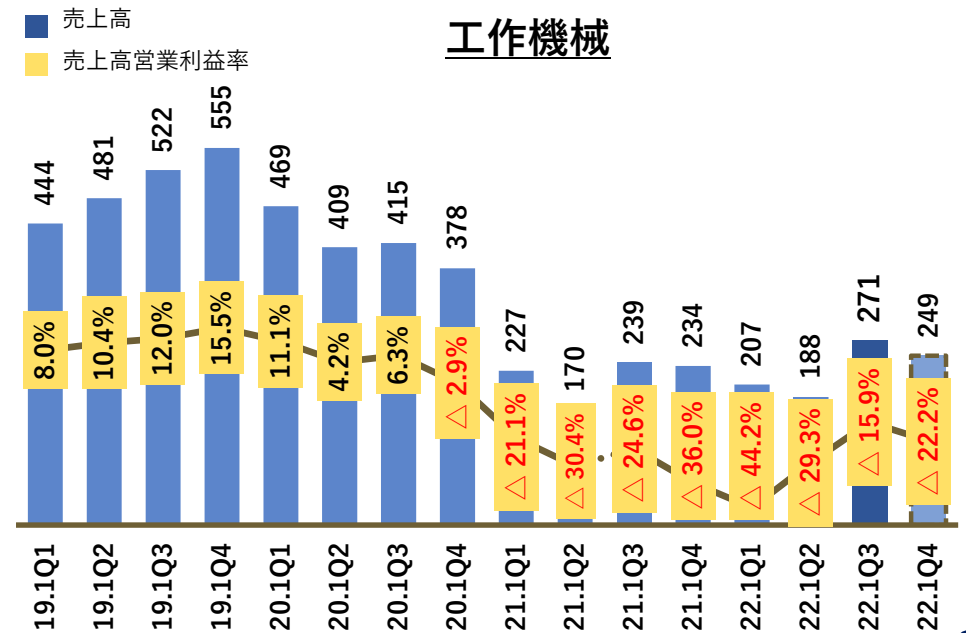
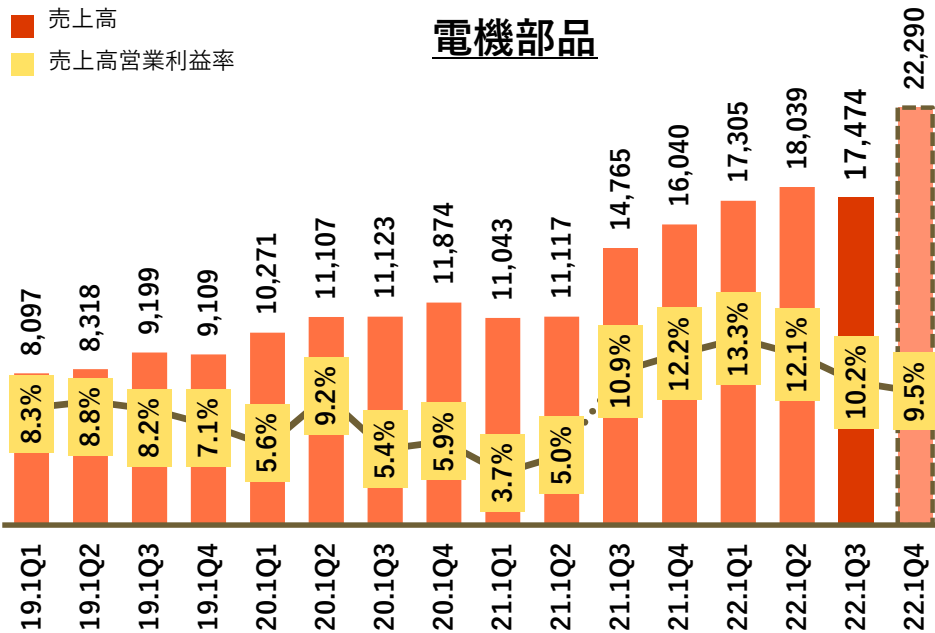
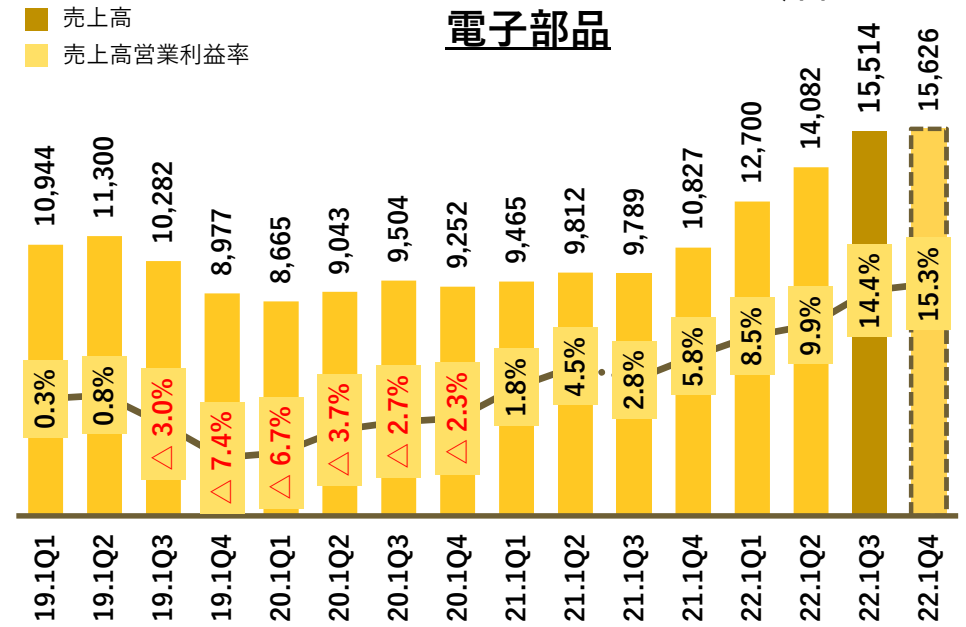
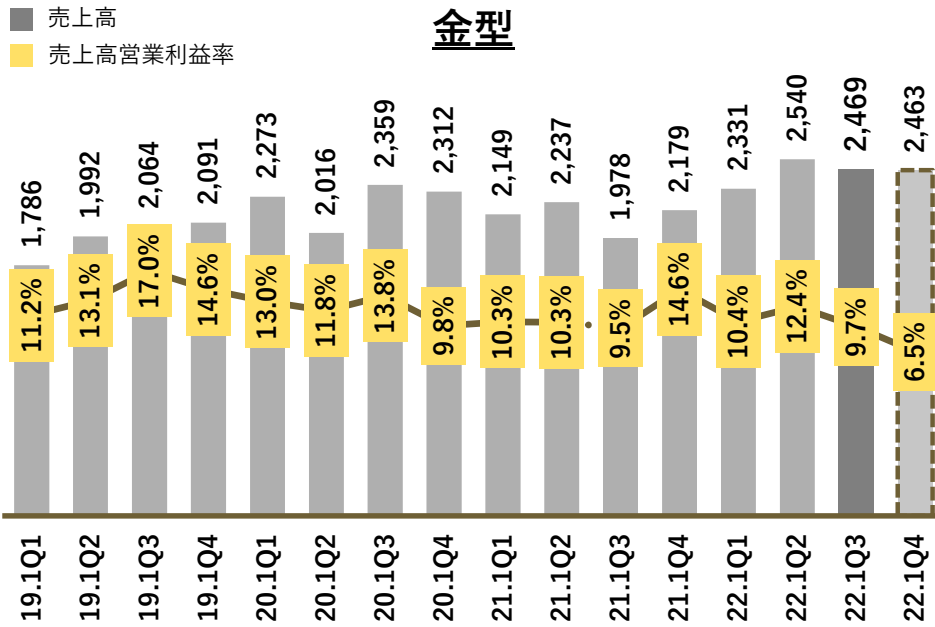


セグメント別業績推移(会計年度別)



セグメント別業績推移(四半期別)

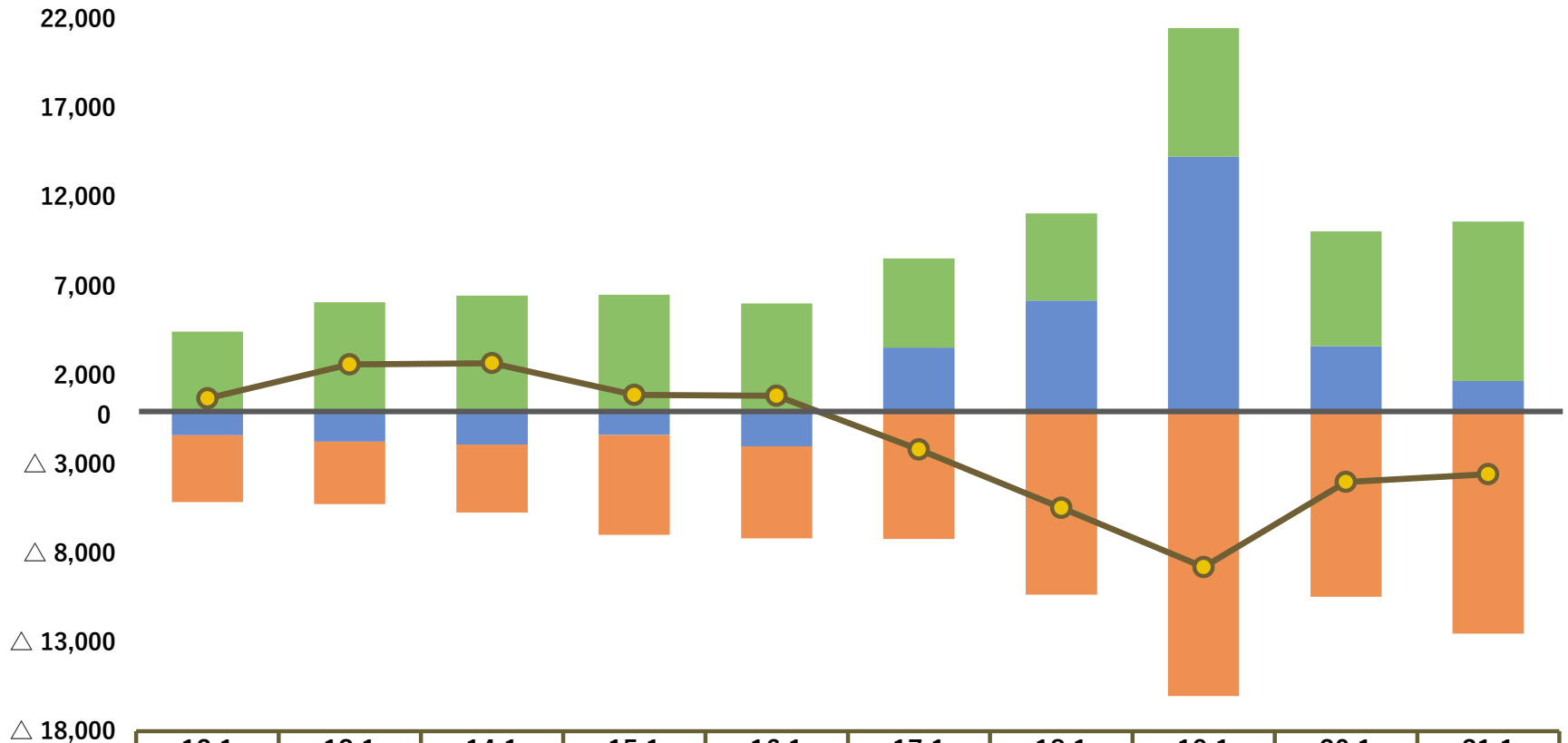
(単位：百万円)



キャッシュフローの推移

(単位：百万円)

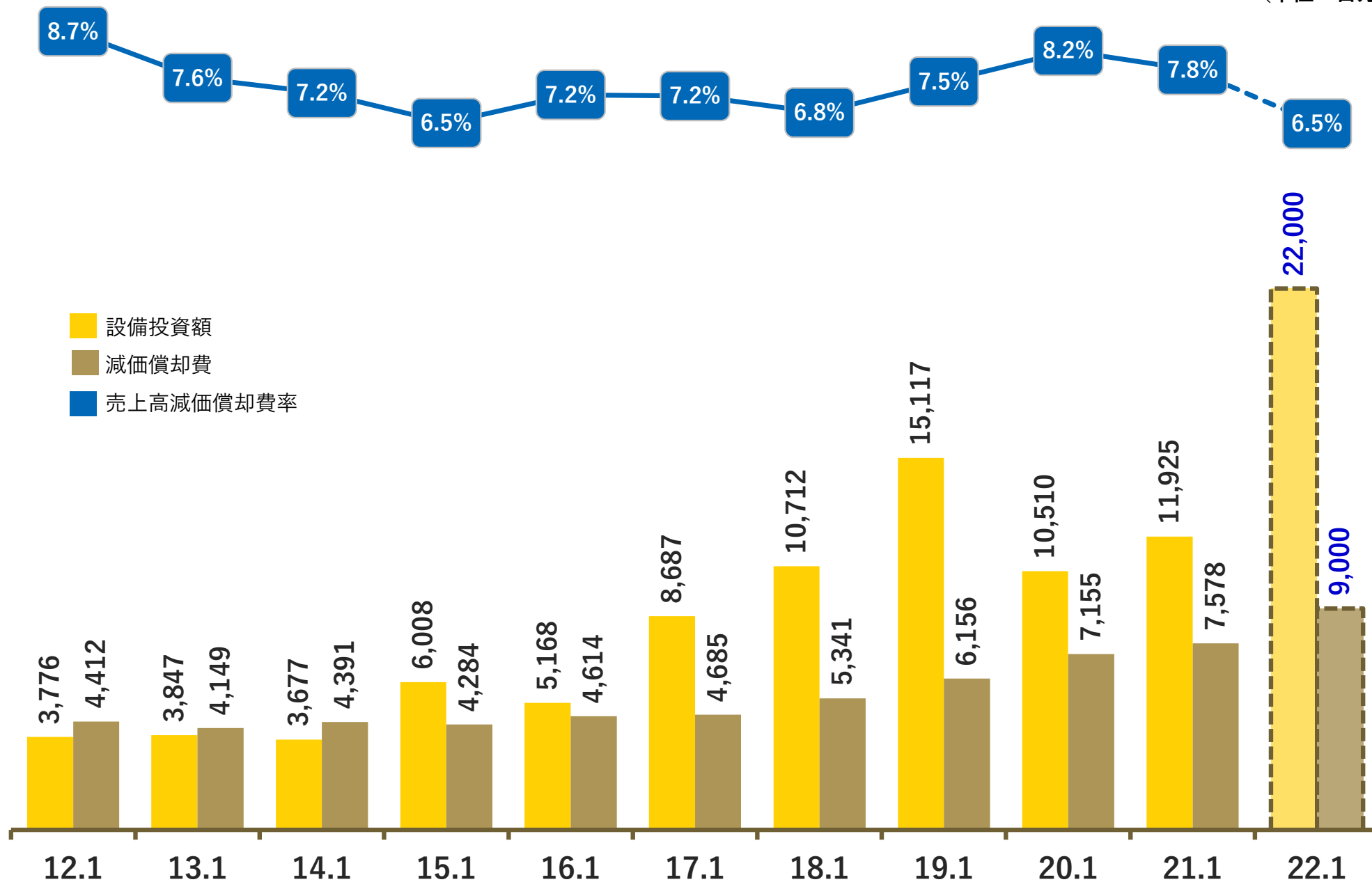
※フリーキャッシュフロー 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー



	12.1	13.1	14.1	15.1	16.1	17.1	18.1	19.1	20.1	21.1
営業キャッシュフロー	4,474	6,135	6,508	6,542	6,047	5,029	4,899	7,238	6,453	8,957
投資キャッシュフロー	△ 3,749	△ 3,506	△ 3,815	△ 5,625	△ 5,177	△ 7,197	△ 10,332	△ 16,016	△ 10,426	△ 12,505
財務キャッシュフロー	△ 1,361	△ 1,718	△ 1,881	△ 1,341	△ 1,974	3,567	6,208	14,298	3,660	1,705
※フリーキャッシュフロー	724	2,629	2,693	917	870	△ 2,167	△ 5,432	△ 8,777	△ 3,973	△ 3,548

設備投資額 & 減価償却

(単位：百万円)



本資料に関する問い合わせ

株式会社 三井ハイテック

管理本部 総務管理部
総務部 広報グループ

TEL 093-614-1112

本資料に記載の業績見通しなどの将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報と合理的と判断する前提に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。今後の世界経済、需要、為替・株式市場の動向等の様々な要因によって、実際の業績とは大幅に異なる可能性がありますことをご理解ください。